

インドネシアで活躍する日本人

インドネシアで活躍する日本人として元 JKT 48 の仲川遥香さんは、最近日本のテレビでも話題なので、ご存知の方も多いと思います。現地テレビのレギュラー番組や企業のCMへ次々と出演するなど活躍の場を広げていますが、そのほかにもインドネシアでよく知られている日本人や活躍中の日本人を今回のレポートではご紹介します。

■ 五輪真弓

インドネシアの大半の人が知っている日本の曲と言えば間違いなく五輪真弓の「心の友」でしょう。こちらが日本人であることが分かるとロズさんでくるインドネシア人も多いはず。五輪真弓のコンサートで「心の友」を聞いたインドネシアのラジオ関係者が、帰国後にラジオで流したことがヒットのきっかけのようです。

歌っているインドネシアの人々も歌詞の意味までは理解していません。歌詞が良いというより、曲調がインドネシアの人々の心に響いたことがヒットした理由でしょう。ヒットから 30 年以上たった今でも、「心の友」程インドネシアで老若男女に親しまれた日本の曲はないのではないのでしょうか。

■ 上田正樹

日本では 1982 年にリリースした『悲しい色やね』の大ヒットが有名ですが、インドネシアでは 2001 年にインドネシアの女性歌手 REZA とデュエットした楽曲『Forever Peace』が有名です。この楽曲はインドネシアの音楽チャートで 17 週間連続 1 位を獲得する大ヒットとなりました。

■ ONE OK ROCK

オリコンランキングで 1 位を獲得するなど既に日本ではお馴染みの人気ロックバンドですが、近年インドネシアの若者にも人気を博しており、その知名度はかなりのものです。

ワールドツアーでもインドネシアを訪れ、その人気ぶりは ONE OK ROCK INDONESIA というファンサイトが立ち上がるほどです。

■ 原田シェフ(原田弘光)

インドネシアのジャカルタで日本料理店を経営する傍ら、テレビ番組に出演し人気を博しています。

また以前は FAN COOKING という料理番組に出演しており、スタジオに来ているお客さんに対して言う「イブ・イブ (奥様方)、パパ、パパ (旦那様方)」という独特の語り口がインドネシアの主婦層に受けていました。

原田氏は、東京にあるレストランでシェフをしていましたが、1987 年からインドネシアのジャカルタ南部にある日本食レストランでシェフとして働き始めました。

その日本食レストランで 3 年間働いた後、自分のレストランをオープンしました。当時は、日本料理はどのようにしたらインドネシアの人々に好かれるのか、また日本料理とインドネシア料理のレシピをどのように組み合わせたらよいかを模索し、インドネシアの人々の口に合う味を見つけるまでにはかなりの苦勞を要したようです。

1990 年にインドネシア人の奥さんとメラワイに Aji-Hara というレストランをオープンしました。Aji は「味」を意味し、Hara は彼の名前である原田から来ているようです。

現在では様々なイベントや番組にゲストとして招待される人気者となり、「Senyum Koki (シェフのスマイル)」というコンセプトであらゆる番組に出演し、日本料理を紹介しています。

■ 加藤ひろあき

よしもとクリエイティブ・インドネシアに所属するシンガーソングライターです。シンガーソングライターとしてインドネシア各地のイベントに参加し活躍しているほか、バラエティ番組や旅番組のタレント、クイズ番組の司会者としても活動しています。

またインドネシアで大ヒットした小説「ラスカル プランギ (虹の少年たち)」の日本語版の翻訳を手掛けるなど多方面で活躍しています。

元々は留学生としてインドネシアを訪れ、ジャワ島地震の際、歌を届けるボランティアとして活動し、徐々に活躍の場を広げていったようです。

■ ZIVILIA

インドネシアで活躍する日本人ではありませんが、日本に所縁のあるインドネシアのアーティストとしてご紹介したいのがこの ZIVILLIA (ジフィリア) です。

男性3人女性1人からなる4人組ロックバンドで、ボーカリストは技能実習生として日本で働いていました。そのため彼らの曲には日本語も多く使われており、日本人にも親しみやすい曲になっています。

2009年にリリースしたファーストアルバム「AISHITERU (アイシテル)」では先ほどご紹介した五輪真弓の「心の友」もカバーされていますし、アルバムタイトルにもなっている楽曲「AISHITERU」は大ヒットし、彼らをトップアーティストに押し上げました。

最近では宇多田ヒカルの「First Love」をインドネシア語でカバーをし、プロモーションビデオの撮影を日本で行いました。

ファーストアルバム発売当時ほどの人気はなくなってきているようですが、それでも日本関連のイベントにたびたび出演するなど、精力的に活動しています。

インドネシアで活躍している日本人をご紹介しましたが、ヒットのきっかけ、バックグラウンドはそれぞれに異なります。

しかし、海外に飛び出し、活躍する姿に、心を打たれる人も多いのではないのでしょうか。日本で活躍する外国人に私たちが抱くのと同じ気持ちをインドネシアの人々も抱いているのかもしれませんが。

インドネシアでのコミュニケーションのきっかけや話題として是非使ってみてください。

以上

★岡山県インドネシアビジネスサポートデスク (PT. JC内) 概要★

所在地 : Rukan Tanjung Mas Raya Blok B-1 No. 29

Jl. Raya Lenteng Agung, Tanjung Barat, Jagakarsa,

Jakarta Selatan 12530 INDONESIA

デスク担当者 : PT. JC 武井 和宏 (たけい かずひろ)

対象エリア : インドネシア全域

※「岡山県インドネシアビジネスサポートデスク」では、岡山県内に事業所を有する企業や経済団体等のインドネシアでの事業展開を支援しています (岡山県から[公益社団法人 日本インドネシア経済協](#)

[力事業協会](#)に業務を委託)。ご利用に当たっては、「[岡山県インドネシアビジネスサポートデスク](#)」[利用の手引き](#)をご覧ください。岡山県産業企画課マーケティング推進室（電話 086-226-7365）までご相談ください。

※本レポートは岡山県内企業のインドネシアでの事業展開の一助とするため作成されたものであり、サポート対象に該当しない個別のお問い合わせには対応していません。